

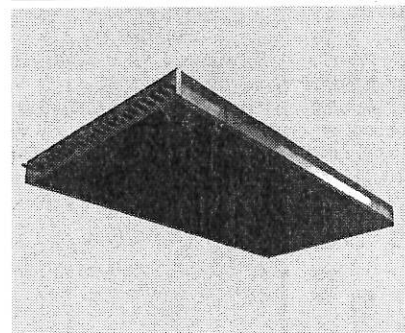
新晃工業

# 人に優しい放射空調披露 コンパクト空調機、診断サービスも

空調機器総合メーカー、新晃工業（社長＝武田昇三氏、本社・大阪市

北区南森町1-4-5）は、12月14日から東京ビッグサイトで開催される住宅・都市イノベーション総合展の構成展示会「第1回スマートビルディングEXPO」にチルドビーム「クライマトーン」は

「その風よの優しい空調機器」を開発コンセプトに製品化したもの。少ないエネルギーで空間全体をきめ細かく空調する快



「クライマトーン」はパッシブタイプCM-Dシリーズ、エアクリニクなど二次側機器トップならではの技術を織り込んだ製品・サービスを披露する。

ストパフォーマンスを発揮する。ファンやモーターがないのでメンテナンス性にも優れている。

空調方式の違いにより、室内空気誘引のアクティブタイプ（CM-A型）とパッシブタイプ（CM-P型）の2タイプを用意。アクティブタイプは空調機から二次空気を供給して室内の空気を誘引する方式。少ない空気量で温度のムラを抑えた高効率の空調が可能なもの。パッシブタイプは自然対流と放射空調を利用した空調方式。冷風が直接当たらないのでドラフト感のない優しい冷房を空間全体に行き渡らせる。

コンパクト型空調機Dシリーズは、高効率・コンパクト・低騒音のエアフォイル型ブラッグファンの採用でファン効率を大幅に向上。モーター直動により、動力ロスをなくすとともにメンテナンス性も向上させ、現場ごとに都度設計するオーダーメイドランナ方式で、常に最適な空調を提供できるのが大きな特徴。エアクリニクは空調機の保守・点検・診断・更新サポートを通じて建物自体の資産価値を維持し、企業のリスクマネジメントを支援する。